

巻末資料

巻末資料①

- ・改訂した箇所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・-16-
- ・アンケート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・-17-
 三浦市のこれからの学校教育の在り方アンケート調査(教職員向け)・・・・・・・・・・-17-
 三浦市立小学校に関するアンケート調査(保護者向け)・・・・・・・・・・・・・・・・-21-
 三浦市立小学校に関するアンケート調査(市民向け)・・・・・・・・・・・・・・・・-25-
 三浦市のこれからの学校教育の在り方アンケート調査(教職員向け)結果・・・・・・・・-30-
 三浦市立小学校に関するアンケート調査(保護者向け)結果・・・・・・・・・・・・-32-
 三浦市立小学校に関するアンケート調査(市民向け)結果・・・・・・・・・・・・-35-
- ・三崎地区・南下浦地区合同地域協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・-38-
- ・学校教育ビジョン課題検討会議(庁内)・・・・・・・・・・・・・・・・・・-39-

巻末資料②

- ・教職員アンケート結果分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・-40-
- ・保護者アンケート結果分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・-45-
 三浦市立小学校に関するアンケート調査結果(保護者向け)より【別紙1】・・・・-47-
- ・市民アンケート集計結果分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・-48-
- ・教職員・保護者・市民アンケート結果分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・-50-

巻末資料③

- ・市内小学校における1年生の児童数(男女比)の推移・・・・・・・・・・・・-52-

巻末資料④

- ・海洋教育の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・-53-
- ・若手教員の研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・-54-
- ・地域とともにある学校づくり協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・-55-
- ・教育課程の編成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・-56-

巻末資料①

改訂した箇所

- 1 ページ 「Ⅰ改訂の経緯」：全文（ページ）追記
- 2 ページ 「Ⅱ改訂の背景」：当初計画の「Ⅰ策定の背景」ページを移動
- 2 ページ 統計数値：令和4年10月1日現在時点修正
- 3 ページ 「Ⅱ改訂の背景」：当初計画の「Ⅰ策定の背景」ページを移動
- 5 ページ 令和4年度アンケート調査結果追記
- 6 ページ OJTに関する表現修正
- 6 ページ 「6. 学校の現状」：令和4年度現在時点修正
- 8 ページ 「1. 3つの取組 （2）生徒指導上の課題の改善」：表現修正
- 9 ページ 「2. 実効ある取組に向けて （1）9年間を見とおした教育課程編成」：『小中一貫教育』表現修正
- 10 ページ 一部表現修正：「まとめることにより」→「まとまった場合には」
- 11 ページ 「第3章 三浦市学校教育ビジョン」：前段全文追記
- 11 ページ 「Ⅰ「三浦らしい小中連携教育」の推進」：見出し修正
- 11 ページ 「2. 系統的・発展的な教育課程の編成」：追記「また、教育委員会は、各校と連携しながら、編成を支援していきます。」
- 11 ページ 「4. 地域とともにある学校づくり協議会の実施」：全文追記
- 12 ページ 「1. （1）学習内容・指導方法・評価方法をつなぐ」：「また、将来目指す～文末まで」全文追記
- 12 ページ 「1. （4）学校と家庭・地域をつなぐ」：「前述のとおり～文末まで」全文追記
- 13 ページ 「3. （1）みうら学海洋教育の推進」：見出し修正。「さらに、今後は～文末まで」追記
- 14 ページ 「Ⅲ. 具体的方策」：全文追記

アンケート

教職員：令和4年2月実施 226人/231人（回収率97.8%）

保護者：令和4年6月実施 781人/1,681人（回収率46.5%）

市民：令和4年9月実施 401名/1,200人（回収率33.4%）

「三浦市のこれからの学校教育のあり方」アンケート調査の実施について

三浦市教育委員会

ご承知のとおり、現行の学習指導要領では、私たち教職員が「何を学ぶか（内容）」を教えるだけでなく、「どのように学ぶか（主体的・対話的で深い学び）」「何ができるようになるか（資質・能力の育成）」を考えながら、教育活動全体で「生きる力」を育むことを目指しています。

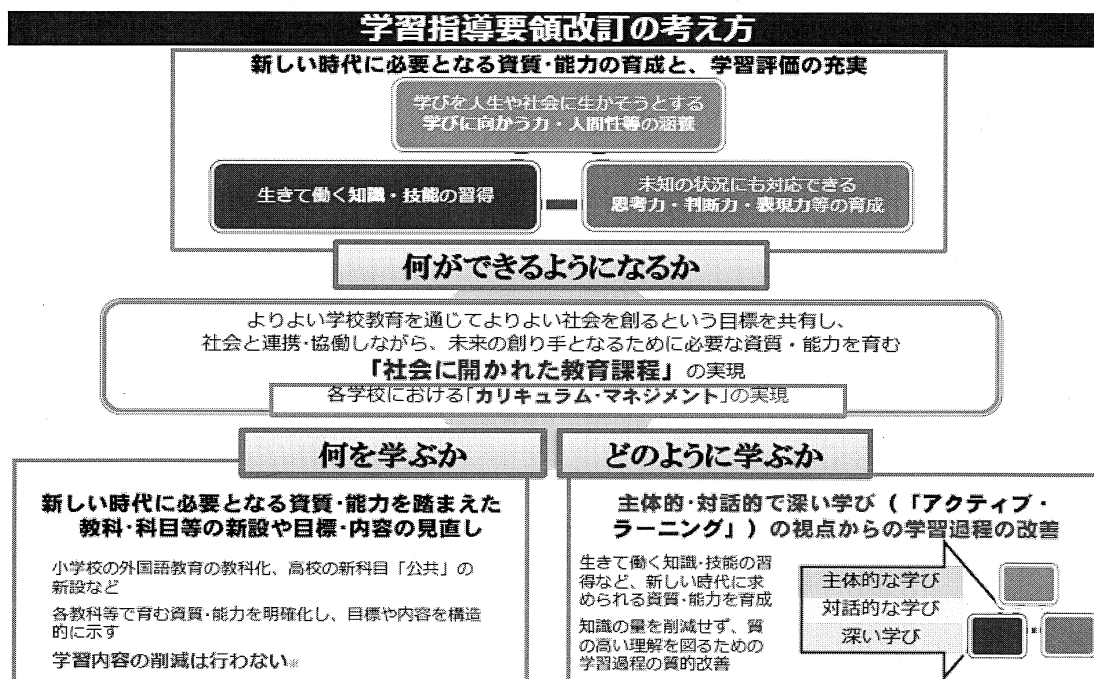
子どもたちが生きる未来社会は、予測困難な時代だと言われています。このような中で、学校教育には、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構築するなどして新たな価値に繋げていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築できることが求められています。

三浦市では、児童・生徒数の減少に伴い、学校の小規模化がさらに進んでいくことが予測されています。未来を生きる三浦の子どもたちのために、「生きる力」をより具体化した資質・能力（知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養）を育成するために学校教育はどうあるべきかについて、先生方の考えを聞き、「三浦市学校教育ビジョン」の見直しに資するため、本アンケート調査を実施いたします。

これからの三浦市の学校教育のあり方を決める大切なアンケートとなりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、回答につきましては裏面に記入し、2月28日（月）までに、逡送などにて教育総務課に提出くださるようお願いいたします。

【参考資料1】学習指導要領改訂の考え方



【参考資料2】市内小学校における児童数・学級数の推移(令和3年12月7日時点の学齢簿に基づいた人数)

学校名	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
三崎小	児童数	106	98	93	90	83	76
	学級数	6	6	6	6	6	6
岬陽小	児童数	154	151	164	164	153	151
	学級数	6	6	6	6	6	6
名向小	児童数	154	146	144	150	142	139
	学級数	6	6	6	6	6	6
南下浦小	児童数	95	91	90	76	74	70
	学級数	6	6	6	6	6	5
上宮田小	児童数	226	210	207	202	191	180
	学級数	8	7	8	8	7	7
旭小	児童数	140	137	134	144	151	158
	学級数	6	6	6	6	6	6
剣崎小	児童数	66	59	58	61	66	53
	学級数	5	5	5	5	6	5
初声小	児童数	446	440	411	403	382	336
	学級数	14	14	14	14	13	12
計	児童数	1387	1332	1301	1290	1242	1163
	学級数	57	56	57	57	56	53

【参考資料3】R9年度の市内小学校における児童数・学級数(令和3年12月7日時点の学齢簿に基づいた人数)

学年	1年			2年			3年			4年			5年			6年		
	児童数	男 女	学級	児童数	男 女	学級	児童数	男 女	学級	児童数	男 女	学級	児童数	男 女	学級	児童数	男 女	学級
三崎小	10	4	1	7	6	1	18	9	1	11	9	1	12	7	1	18	12	1
		6			1			9			2			5			6	
岬陽小	24	11	1	14	9	1	20	11	1	35	15	1	30	16	1	28	13	1
		13			5			9			20			14			15	
名向小	20	16	1	20	12	1	23	16	1	30	12	1	22	11	1	24	9	1
		4			8			7			18			11			15	
南下浦小	12	6	1	7	3	複式	7	4	複式	16	8	1	12	5	1	16	9	1
		6			4			3			8			7				
上宮田小	20	7	1	29	15	1	31	17	1	38	23	2	31	16	1	31	16	1
		13			14			14			15			15				
旭小	31	14	1	26	11	1	34	16	1	20	8	1	28	14	1	19	12	1
		17			15			18			12			14			7	
剣崎小	3	1	複式	5	3	複式	13	7	1	9	7	1	10	5	1	13	7	1
		2			2			6			2			5			6	
初声小	36	20	2	54	32	2	63	31	2	45	26	2	68	38	2	70	40	2
		16			22			32			19			30			30	

※ 剣崎小の1、2年生及び南下浦小の2、3年生は複式学級となります。

※ 学級数に下線があるところは、児童の移動等により、複式学級になる可能性があります。

【補足説明：複式学級になる基準】

- ・2学年併せて、児童数が16人以下となった場合
- ・1年生と2年生は、8人以下となった場合

【これからの三浦市の学校教育に求めるものについて、先生方の考えをお聞かせください】

それぞれの項目の中で、当てはまるものを選んで○をつけてください。

A 子どもたちに「生きる力」を育むために、学校教育で重視することは？(5つ以内で選択)

① 多様な考えに触れる機会	
② 少人数指導を取り入れたきめ細やかな指導体制	
③ 問題解決的な学習	
④ 校外学習などの体験活動	
⑤ 学校の実態に合わせた学校行事と活躍の場	
⑥ ICT活用や情報処理能力を養う教育	
⑦ SDGsなどのグローバルな視点をもった教育	
⑧ 表現力やコミュニケーション力を養う教育	
⑨ 他者とかかわり、どのような状況変化にも対応できる社会性を養う教育	
⑩ 他学級・他学年との交流・刺激・人間関係	

B 「主体的・対話的で深い学び」のために学校教育で重視することは？(5つ以内で選択)

① 学ぶ意欲が高まる授業や教材	
② 異学年交流などを通して得られる発見や気づき	
③ 多様な学習形態	
④ 個に応じた学習環境や学習内容	
⑤ 安心して自己表現ができる学級・学年・学校	
⑥ 複数の学級において、多様な考えに触れ、刺激し合える環境	
⑦ みうら学・海洋教育などの地域と連携した授業	
⑧ 仲間同士で必要な時に助け合える環境	
⑨ 専科教員など、多くの教員が学級にかかわる授業	
⑩ ICT機器を活用できる環境	

C 教員の授業力を上げるために重視することは？(5つ以内で選択)

① 校務負担を軽減した授業準備をする時間や教材研究の時間の確保	
② 年間指導計画や単元計画、授業プランを作成する力	
③ 必要な研修をうける機会	
④ ICT活用能力や情報処理能力	
⑤ それぞれの専門性を生かした授業(小:教科担任制、学年内教科分担など)	
⑥ 子どもたちと向き合う時間	
⑦ 日常的に教材研究、学年運営、児童・生徒対応等を学び・成長できる環境(OJT)	
⑧ 他校の教職員間の交流や情報共有の機会	
⑨ 生きがい・やりがいをもって仕事に取り組める環境	
⑩ 小・中の連携の機会	

【DとEは小学校の規模について伺いますが、中学校の先生方のご意見もお聞かせください】

D A～Cを実現するために必要と考える学校規模(特別支援学級は除く)は?(1つ選択)

① 6学級未満(複式学級含む)	
② 6学級(全学年単級)	
③ 7～11学級(学年1～2学級)	
④ 12学級以上(全学年複数学級)	

E A～Cを実現するために必要と考える1学級あたりの児童数は?(1つ選択)

① 10人以下	
② 11～20人	
③ 21～30人	
④ 31人以上	

F 教育の推進のためには小・中の連携は必要か?(1つ選択)

① 必要 (⇒質問GとHへ)	
② 必要ない(⇒質問Hへ)	

G 小・中の連携に必要なことは?(複数回答可)

① 9年間を見通した教育目標の設定	
② 小・中を連携するための組織や研修、共通の研究テーマの設定	
③ 学びのスタイルの連携や児童・生徒指導の連携	
④ 小学校から中学校へ(その逆も)乗り入れ授業等による教員の交流	
⑤ 小・中の連携が図りやすい施設や環境	

**H 三浦市のこれからの教育について
ご意見がありましたらお書きください。**

**I 先生方の所属等、当てはまるところを
○で選んでください。**

校 種	① 小学校	
	② 中学校	
教職経験 年数	① 6年未満	
	② 6～10年	
	③ 11～15年	
	④ 16～25年	
	⑤ 26年以上	
担任経験 (小のみ)	① 単級の学年のみ	
	② 複数学級の学年のみ	
	③ 上記の両方	
在籍経験 (小のみ)	① 学年単学級校のみ	
	② 学年複数学級校のみ	
	③ 上記の両方	

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

提出は、令和4年6月22日(水)までに、同封した返信用封筒でポスト投函してください。

三浦市立小学校に関するアンケート調査（保護者向け）

令和4年6月
三浦市教育委員会

未来を生きる子どもたちのためにどのような小学校を希望しますか？ (10年、20年後の小学校を想像してお答えください)

三浦市教育委員会では、本市児童生徒数の減少に伴う学校の小規模校化（学年単学級や複式学級）は、これからの三浦市の学校教育のあり方を考えていくうえで大きな課題であると捉えております。

三浦市では、子どもたちが予測困難な未来社会をたくましく生き抜いていく力を身に付けていくためには、子どもたちがお互いに高め合い、深め合える環境として、1学年複数学級の規模が必要と考えており、令和元年8月「三浦市学校教育ビジョン～すべては子どもたちのために～」を策定しました。しかし、策定後、賛否両論の様々な意見をいただき、1学年複数学級の規模が小学校の適正規模であるという基本的な考えに変わりはありませんが、本アンケート調査の結果を踏まえて学校教育ビジョンを見直すこととしました。

未来社会を生きる子どもたちが、笑顔でたくましく生き抜いていく力を身に付けていくため、三浦市にとって最適な学校はどうあったらいいのかを、保護者の皆さまのご意見やお考えをしっかりと受け止めて考えてまいります。本アンケートは、これからの三浦市の子どもたちのために大変重要なアンケートとなります。ご多用のこととは思いますが、是非ご協力をお願い申し上げます。

【参考1】市内小学校における児童数・学級数の推移（令和4年4月25日現在推計）

学校名	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
三崎小	児童数	111	103	98	95	87	80	69
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
岬陽小	児童数	153	151	166	155	154	154	149
	学級数	6	6	7	7	7	7	7
名向小	児童数	152	144	140	150	140	136	137
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
南下浦小	児童数	93	89	87	74	74	69	66
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
上宮田小	児童数	230	214	211	205	196	185	175
	学級数	8	7	8	8	7	7	7
旭小	児童数	141	139	136	148	154	161	160
	学級数	6	6	6	7	7	7	7
剣崎小	児童数	64	58	57	60	67	54	50
	学級数	5	5	5	5	6	5	5
初声小	児童数	445	437	411	402	379	335	306
	学級数	14	14	14	14	13	12	12
計	児童数	1,389	1,335	1,306	1,289	1,251	1,174	1,112
	学級数	57	56	58	59	58	56	56

④ 2-②で、5を選択した方へお聞きします。5を選択した理由について、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号を記入してください。

- 1 通学距離が長くなり体力的に困難
- 2 通学が公共交通機関利用となり費用負担が心配
- 3 通学路の安全性が心配
- 4 学校が無くなると寂しい
- 5 地域の人が学校に関わりにくくなる
- 6 その他 ()

⑤ 2-②で、2, 3, 4を選択した方へお聞きします。選択した規模を確保するためには、今後、統廃合を実施することが必要ですが、あなたのお考えに近いものを選んで番号を記入してください。

- 1 複式が見込まれる学校から段階的に統廃合を進める。
- 2 学年複数学級を達成するために統廃合を進める。

⑥ 統廃合を検討するうえで、注意すべきことや、講ずべき対策について、あなたのお考えに近いものを2つ選んで番号を記入してください。(全員がお答えください)

- 1 登下校の安全策(スクールバス運行、警察連携など)
- 2 通学費について、経済負担の軽減策(通学費補助等)
- 3 地域の人が学校に関わりやすくなる対策。
- 4 避難所、防災の拠点とし廃校の利活用が出来るような対策。
- 5 学びや生徒指導のための小中連携。
- 6 その他 ()

⑦ 理想的だと考える1学級あたりの児童数をお答えください。(1つ選んで番号を記入してください)

- 1 10人以下
- 2 11人~20人
- 3 21人~30人
- 4 31人以上
- 5 その他 ()

3 学校教育以外に関すること

① 学校教育以外で小学校(施設)に期待するもの(1つ選んで番号を記入してください)

- 1 地域コミュニティ(文化・スポーツ)活動の拠点
- 2 防災の拠点、避難所としての機能
- 3 その他 ()

4 自由記述

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

【参考2】令和10年度 推計

市内小学校における児童数・学級数（令和4年4月25日現在推計）

学年	学校名	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		学校計	
		児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童	学級
三崎小	男	6	9	4	10	6	7	9	20	9	11	7	12	1	69
	女	3		6		1		11		2		5			
岬陽小	男	13	23	12	25	9	14	9	20	16	36	17	31	1	149
	女	10		13		5		11		20		14			
名向小	男	15	24	16	19	11	19	16	24	12	29	11	22	1	137
	女	9		3		8		8		17		11			
南下浦小	男	5	9	6	12	4	9	4	8	8	16	5	12	1	66
	女	4		6		5		4		8		7			
上宮田小	男	14	26	7	20	15	30	16	30	23	38	16	31	1	175
	女	12		13		15		14		15		15			
旭小	男	10	20	14	31	11	25	17	36	8	20	13	28	1	160
	女	10		17		14		19		12		15			
剣崎小	男	4	7	1	3	3	7	7	13	7	9	6	11	1	50
	女	3		2		4		6		2		5			
初声小	男	18	39	21	38	29	51	31	64	27	48	36	66	2	306
	女	21		17		22		33		21		30			
計	男	85	157	81	158	88	162	109	215	110	207	111	213	8	1112
	女	72		77		74		106		97		102			

【複式学級】

● 複式学級とは、異なる学年を一つの学級として、一人の担任が指導する形態です。

※ 例として剣崎小の1,2,3年生は、複式学級となる可能性があります。

【複式学級になる基準】

- 2学年併せて、児童数が16人以下となった場合、2学年で1クラスとなる。
- 1年生と2年生は、8人以下となった場合。

【参考】

令和元年度策定 三浦市学校教育ビジョン 二次元バーコード



令和3年度 教職員向けアンケート（単純集計結果）
二次元バーコード

三浦市学校教育ビジョンに関するこれまでの協議や説明会資料ほか
二次元バーコード



公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きほか
二次元バーコード

提出は、令和4年9月30日(金)までに、同封した返信用封筒でポスト投函してください。

三浦市立小学校に関するアンケート調査（市民向け）

令和4年9月

三浦市教育委員会

三浦市教育委員会では、今後三浦市の児童生徒数の減少が予測される中、さらなる学校教育の充実と質の向上を目指し、令和7年度を目途に1中学校区1小学校の新たな学校体制を整えることを内容とした「三浦市学校教育ビジョン」を策定しました。

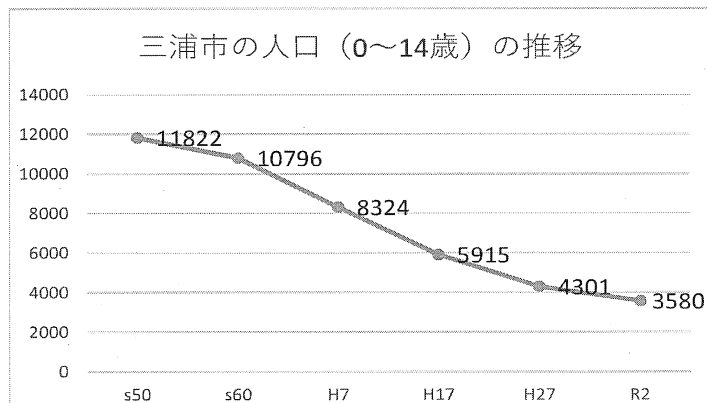
その後、様々なご意見をいただいたことから、関係者（教職員・保護者・市民）にアンケート調査を行い改めてご意見をお聞きし、学校教育ビジョンの見直しを行うこととしました。また、併せて学校として使用しなくなった場合の施設利用についてもお聞きします。ご多用のことと存じますが、未来を担う子どもたちのためにご協力をお願いいたします。※本アンケートは、無作為抽出（令和4年8月1日現在の住民基本台帳18歳以上1,200名）で実施します。個人を特定されることはありません。

【参考1】市内小学校における児童数・学級数の推移（令和4年8月4日現在推計）

学校名	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
三崎小	児童数	113	104	100	97	88	80	66
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
岬陽小	児童数	153	152	170	172	161	162	160
	学級数	6	6	7	7	7	7	7
名向小	児童数	150	141	138	147	137	133	133
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
南下浦小	児童数	93	88	85	72	73	68	67
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
上宮田小	児童数	231	214	211	205	196	185	176
	学級数	9	8	8	8	7	7	7
旭小	児童数	141	139	135	146	152	158	157
	学級数	6	6	6	7	7	7	7
剣崎小	児童数	64	58	57	62	69	56	52
	学級数	5	5	5	5	6	6	5
初声小	児童数	445	437	411	402	379	334	306
	学級数	14	14	14	14	13	12	12
計	児童数	1,390	1,333	1,307	1,303	1,255	1,176	1,117
	学級数	58	57	58	59	58	57	56

グラフ1

単位:人



平成から令和の推移 単位:人

平成元年	9,634	
令和元年	3,776	▲ 5,858

平成の間に5,858人(61%)減少した。

直近の人口推移(0～14歳)

令和元年	3,776	前年比
令和2年	3,580	▲ 196
令和3年	3,450	▲ 130
令和4年	3,353	▲ 97

資料:三浦市統計書ほか

三浦市学校教育ビジョンはご存じでしょうか

二次元バーコードからスマートフォンなどでご一読ください



設問

各設問の口欄に、○を記入してお答えください。

回答例	<input type="checkbox"/>	18歳～29歳
	<input checked="" type="checkbox"/>	30歳～39歳
	<input type="checkbox"/>	40歳～49歳

1 基本情報

① あなたの年代についてお聞きします（1つ選択）

<input type="checkbox"/>	18歳～29歳	<input type="checkbox"/>	50歳～59歳	<input type="checkbox"/>	80歳以上
<input type="checkbox"/>	30歳～39歳	<input type="checkbox"/>	60歳～69歳		
<input type="checkbox"/>	40歳～49歳	<input type="checkbox"/>	70歳～79歳		

② お住まいの地域をお聞きします（1つ選択）

<input type="checkbox"/>	三崎地区	<input type="checkbox"/>	南下浦地区	<input type="checkbox"/>	初声地区
--------------------------	------	--------------------------	-------	--------------------------	------

2 学校との関わり

① 最近1年間に何回くらい小学校に行ったかお聞きします（1つ選択）

<input type="checkbox"/>	週に1回程度	<input type="checkbox"/>	1年に1回以上
<input type="checkbox"/>	月に1回以上	<input type="checkbox"/>	1回も行っていない
<input type="checkbox"/>	半年に1回以上	<input type="checkbox"/>	その他（ ）

② 最近1年間に学校に行った目的についてお聞きします（複数選択可）

<input type="checkbox"/>	PTA等、保護者としての活動	<input type="checkbox"/>	自治会行事
<input type="checkbox"/>	選挙の投票所などの公的利用	<input type="checkbox"/>	文化・スポーツ活動
<input type="checkbox"/>	ボランティア活動	<input type="checkbox"/>	仕事、業務上の関係
<input type="checkbox"/>	学校行事（運動会、授業参観等）	<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	災害での避難（大雨、台風、地震等）		（ ）

③ 学校が地域で担ってきた役割で、重要だと考えるものをお聞きします（複数選択可）

<input type="checkbox"/>	地域防災の拠点	<input type="checkbox"/>	スポーツ活動の拠点
<input type="checkbox"/>	選挙の投票所などの公的利用	<input type="checkbox"/>	文化活動の拠点
<input type="checkbox"/>	地域の活動・交流の拠点	<input type="checkbox"/>	その他
			（ ）

3 学校教育について

① 子ども達の学びの場である学校が、大切にすべきことについてお聞きます（複数選択可）

- | | | |
|--------------------------|-------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 基礎的・基本的な学力を伸ばす教育 | |
| <input type="checkbox"/> | いろいろな人に出会い、考えに触れ合える機会 | |
| <input type="checkbox"/> | 個々の才能を伸ばす教育 | |
| <input type="checkbox"/> | 社会性やコミュニケーション能力の育成 | |
| <input type="checkbox"/> | 良い意味での競争（切磋琢磨） | |
| <input type="checkbox"/> | 自尊心や思いやる心の育成 | |
| <input type="checkbox"/> | 自然や伝統を大切にし、三浦を愛する心を育む教育 | |
| <input type="checkbox"/> | 地域との連携教育 | |
| <input type="checkbox"/> | その他（ | ） |

② 3-①で選択した大切にすべきことを達成するために、必要と考える学校規模をお聞きます。（1つ選択）

- | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|--------------------------|-------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1学年2学級以上（クラス替えが出来る規模） | <input type="checkbox"/> | わからない | |
| <input type="checkbox"/> | 1学年1学級 | <input type="checkbox"/> | その他 | |
| | | | （ | ） |

③ 今後さらに児童生徒数の減少が見込まれるなか、教育委員会では一定程度の学校規模が必要と考えています。小学校の統廃合についてお聞きます（1つ選択）

- | | | | | |
|--------------------------|-------------------------|--------------------------|------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1学年2学級以上の規模となるように統廃合すべき | | | |
| <input type="checkbox"/> | 児童の少ない学校から統廃合すべき | | | |
| <input type="checkbox"/> | 子どもが少なくなっても統廃合はするべきではない | | | |
| <input type="checkbox"/> | わからない | <input type="checkbox"/> | その他（ | ） |

4 その他

① 仮に学校として使用しなくなった場合の施設利用については、どのように活用すべきかお聞きます（複数選択可）

- | | | | | |
|--------------------------|----------------------|--------------------------|----------|---|
| <input type="checkbox"/> | 地域住民の生涯学習やスポーツのための施設 | <input type="checkbox"/> | 防災拠点、避難所 | |
| <input type="checkbox"/> | 地域の子どものための施設 | <input type="checkbox"/> | その他 | |
| <input type="checkbox"/> | 福祉サービスのための施設 | | （ | ） |
| <input type="checkbox"/> | 財政負担を軽減するため売却処分 | | | |
| <input type="checkbox"/> | NPO、民間団体などの活動のための施設 | | | |

自由記述

アンケートにご協力有難うございました。

提出は、令和4年9月30日(金)までに、同封した返信用封筒でポスト投函してください。

【参考2】令和10年度 小学校の学年別児童数・学級数推計

学年	学校名	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		学校計		
		児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童	学級	
三崎小	男	5	7	3	9	5	6	9	20	9	12	7	12	1	66	6
	女	2		6		1		11		3		5				
岬陽小	男	16	26	14	27	9	15	10	21	18	39	17	32	1	160	7
	女	10		13		6		11		21		15				
名向小	男	15	23	15	18	11	19	15	23	12	29	11	21	1	133	6
	女	8		3		8		17		10						
南下浦小	男	6	11	6	12	4	10	4	8	7	15	5	11	1	67	6
	女	5		6		6		4		8		6				
上宮田小	男	14	27	7	20	15	30	16	30	23	38	15	31	1	176	7
	女	13		13		15		14		15		16				
旭小	男	10	20	14	30	11	25	17	35	8	19	13	28	1	157	7
	女	10		16		14		18		11		15				
剣崎小	男	4	7	1	3	3	7	9	15	7	9	6	11	1	52	6
	女	3		2		4		6		2		5				
初声小	男	19	40	20	37	29	51	31	64	27	48	36	66	2	306	12
	女	21		17		22		33		21		30				
計	男	89	161	80	156	87	163	111	216	111	209	110	212	9	1117	57
	女	72		76		76		105		98		102				

●推計値では、市内2つの小学校で複式学級が設置される見込みです。

【複式学級とは】

●異なる学年を一つの学級として、一人の担任が指導する形態です。

※三崎小、剣崎小の2,3年生は、複式学級となる可能性があります。

●2学年併せて、児童数が16人以下となった場合、2学年で1クラスとなる。(1年生と2年生は、8人以下となった場合)

【参考3】学校教育ビジョンに関する情報(二次元バーコード)



令和3年度 教職員向け及び保護者向けアンケート(単純集計結果)

三浦市学校教育ビジョンに関するこれまでの協議や説明会資料ほか



文部科学省ホームページ

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きほか

【参考資料2】市内小学校における児童数・学級数の推移(令和3年12月7日時点の学齢簿に基づいた人数)

学校名	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
三崎小	児童数	106	98	93	90	83	76
	学級数	6	6	6	6	6	6
岬陽小	児童数	154	151	164	164	153	151
	学級数	6	6	6	6	6	6
名向小	児童数	154	146	144	150	142	139
	学級数	6	6	6	6	6	6
南下浦小	児童数	95	91	90	76	74	70
	学級数	6	6	6	6	6	5
上宮田小	児童数	226	210	207	202	191	180
	学級数	8	7	8	8	7	7
旭小	児童数	140	137	134	144	151	158
	学級数	6	6	6	6	6	6
剣崎小	児童数	66	59	58	61	66	53
	学級数	5	5	5	5	6	5
初声小	児童数	446	440	411	403	382	336
	学級数	14	14	14	14	13	12
計	児童数	1387	1332	1301	1290	1242	1163
	学級数	57	56	57	57	56	53

【参考資料3】R9年度の市内小学校における児童数・学級数(令和3年12月7日時点の学齢簿に基づいた人数)

学年	1年			2年			3年			4年			5年			6年		
	児童数	男 女	学級	児童数	男 女	学級	児童数	男 女	学級	児童数	男 女	学級	児童数	男 女	学級	児童数	男 女	学級
三崎小	10	4	1	7	6	1	18	9	1	11	9	1	12	7	1	18	12	1
		6			1			9			2			5			6	
岬陽小	24	11	1	14	9	1	20	11	1	35	15	1	30	16	1	28	13	1
		13			5			9			20			14			15	
名向小	20	16	1	20	12	1	23	16	1	30	12	1	22	11	1	24	9	1
		4			8			7			18			11			15	
南下浦小	12	6	1	7	3	複式	7	4	複式	16	8	1	12	5	1	16	9	1
		6			4			3			8			7			7	
上宮田小	20	7	1	29	15	1	31	17	1	38	23	2	31	16	1	31	16	1
		13			14			14			15			15			15	
旭小	31	14	1	26	11	1	34	16	1	20	8	1	28	14	1	19	12	1
		17			15			18			12			14			7	
剣崎小	3	1	複式	5	3	複式	13	7	1	9	7	1	10	5	1	13	7	1
		2			2			6			2			5			6	
初声小	36	20	2	54	32	2	63	31	2	45	26	2	68	38	2	70	40	2
		16			22			32			19			30			30	

※ 剣崎小の1、2年生及び南下浦小の2、3年生は複式学級となります。

※ 学級数に下線があるところは、児童の移動等により、複式学級になる可能性があります。

【補足説明：複式学級になる基準】

- ・2学年併せて、児童数が16人以下となった場合
- ・1年生と2年生は、8人以下となった場合

R4.3.8 時点集計（速報値） 226/231（回収率 97.8%）

【これからの三浦市の学校教育に求めるものについて、先生方の考えをお聞かせください】
それぞれの項目の中で、当てはまるものを選んで○をつけてください。

A 子どもたちに「生きる力」を育むために、学校教育で重視することは？（5つ以内で選択）

① 多様な考えに触れる機会	167
② 少人数指導を取り入れたきめ細やかな指導体制	76
③ 問題解決的な学習	97
④ 校外学習などの体験活動	84
⑤ 学校の実態に合わせた学校行事と活躍の場	74
⑥ ICT 活用や情報処理能力を養う教育	65
⑦ SDGsなどのグローバルな視点をもった教育	49
⑧ 表現力やコミュニケーション力を養う教育	147
⑨ 他者とかかわり、どのような状況変化にも対応できる社会性を養う教育	174
⑩ 他学級・他学年との交流・刺激・人間関係	81

B 「主体的・対話的で深い学び」のために学校教育で重視することは？（5つ以内で選択）

① 学ぶ意欲が高まる授業や教材	189
② 異学年交流などを通して得られる発見や気づき	31
③ 多様な学習形態	108
④ 個に応じた学習環境や学習内容	118
⑤ 安心して自己表現ができる学級・学年・学校	181
⑥ 複数の学級において、多様な考えに触れ、刺激し合える環境	50
⑦ みうら学・海洋教育などの地域と連携した授業	17
⑧ 仲間同士で必要な時に助け合える環境	131
⑨ 専科教員など、多くの教員が学級にかかわる授業	88
⑩ ICT 機器を活用できる環境	49

C 教員の授業力を上げるために重視することは？（5つ以内で選択）

① 校務負担を軽減した授業準備をする時間や教材研究の時間の確保	198
② 年間指導計画や単元計画、授業プランを作成する力	78
③ 必要な研修をうける機会	87
④ ICT 活用能力や情報処理能力	57
⑤ それぞれの専門性を生かした授業（小：教科担任制、学年内教科分担など）	77
⑥ 子どもたちと向き合う時間	135
⑦ 日常的に教材研究、学年運営、児童・生徒対応等を学び・成長できる環境（OJT）	126
⑧ 他校の教職員間の交流や情報共有の機会	57
⑨ 生きがい・やりがいをもって仕事に取り組める環境	104
⑩ 小・中の連携の機会	22

【DとEは小学校の規模について伺いますが、中学校の先生方のご意見もお聞かせください】

D A～Cを実現するために必要と考える学校規模(特別支援学級は除く)は？(1つ選択)

① 6学級未満(複式学級含む)	4
② 6学級(全学年単級)	22
③ 7～11学級(学年1～2学級)	63
④ 12学級以上(全学年複数学級)	132

E A～Cを実現するために必要と考える1学級あたりの児童数は？(1つ選択)

① 10人以下	1
② 11～20人	77
③ 21～30人	143
④ 31人以上	2

F 教育の推進のためには小・中の連携は必要か？(1つ選択)

① 必要(⇒質問GとHへ)	206
② 必要ない(⇒質問Hへ)	16

G 小・中の連携に必要なことは？(複数回答可)

① 9年間を見通した教育目標の設定	95
② 小・中を連携するための組織や研修、共通の研究テーマの設定	44
③ 学びのスタイルの連携や児童・生徒指導の連携	128
④ 小学校から中学校へ(その逆も)乗り入れ授業等による教員の交流	89
⑤ 小・中の連携が図りやすい施設や環境	100

**H 三浦市のこれからの教育について
ご意見がありましたらお書きください。**

**I 先生方の所属等、当てはまるところを
○で選んでください。**

校 種	① 小学校	144
	② 中学校	77
教職経験 年数	① 6年未満	46
	② 6～10年	32
	③ 11～15年	35
	④ 16～25年	37
	⑤ 26年以上	63
担任経験 (小のみ)	① 単級の学年のみ	20
	② 複数学級の学年のみ	28
	③ 上記の両方	66
在籍経験 (小のみ)	① 学年単学級校のみ	20
	② 学年複数学級校のみ	25
	③ 上記の両方	80

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

三浦市立小学校に関するアンケート調査（保護者向け）

令和4年6月8日～22日実施結果 令和4年7月22日速報値

1 基本情報

① お子様の通学（予定）する小学校はどちらですか（○を記入してください）

三崎小	岬陽小	名向小	南下浦小	上宮田小	旭小	剣崎小
54	78	89	57	140	89	41
初声小	その他	合計	回答率			
214	19	781	46.5%			

② お子様についてお聞きします（数字で人数を記入してください）

未就学のみ	小学生のみ	両方	未回答
193	358	194	36

※配布数

未就学児	小学生	合計
565	1,116	1,681

2 小学校について

① 小学校の教育に重要視するもの（5つ以内で選んで番号を記入してください）

	件数	割合
1 基礎的・基本的な学力を伸ばす教育	523	13.7%
2 多様な意見や考えに触れ、切磋琢磨できる教育	291	7.6%
3 学ぶ意欲が高まる教育	270	7.1%
4 きめ細かな指導が出来る教育	121	3.2%
5 個々の才能を伸ばす教育	246	6.5%
6 課題をもち、主体的に解決する力を伸ばす教育	181	4.7%
7 社会性やコミュニケーション能力を伸ばす教育	452	11.9%
8 国際理解（外国語教育など）の教育	97	2.5%
9 ICT利活用や情報処理の理解を深める教育	38	1.0%
10 環境問題などを中心としたSDGsへの理解を深める教育	33	0.9%
11 自尊心(自分を大切に思う心)や思いやりなどの心を育てる教育	516	13.5%
12 マナーや社会のルールを身に付けさせる教育	402	10.5%
13 健康や体力を向上させる教育	178	4.7%
14 地域の自然や伝統文化を大切にし、三浦を愛する心を育む教育	111	2.9%
15 自らの生涯を生き抜く力を培っていく教育	223	5.8%
16 あらゆる差別をなくすために人権尊重の精神を養う教育	126	3.3%
17 その他（ ）	4	0.1%

- ② 1学級の上限児童数35人を基準と考えた場合、2-①で選択した教育を達成するためには、これからの三浦市の学校の在り方として、1学校あたりどの程度の学級数が必要と考えますか（1つ選んで番号を記入してください）

- 1 複式学級でも良い
- 2 学年1学級（全校6学級）
- 3 学年1～2学級（全校7～11学級）
- 4 全学年複数学級（全校12学級以上）
- 5 1学年複数学級が良いと考えるが、統廃合には反対する
- 6 その他（ ）

件数	割合
88	11.4%
92	11.9%
251	32.5%
186	24.1%
131	16.9%
25	3.2%

- ③ 2-②で、1を選択した方へお聞きします。1を選択した理由について、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号を記入してください。

- 1 学校が一丸となり活動がしやすい
- 2 児童一人ひとりがきめ細かな指導を受けることができる
- 3 人間関係が深まりやすい
- 4 異学年間の交流が生まれやすい
- 5 その他（ ）

件数	割合
9	10.6%
19	22.4%
19	22.4%
31	36.5%
7	8.2%

- ④ 2-②で、5を選択した方へお聞きします。5を選択した理由について、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号を記入してください。

- 1 通学距離が長くなり体力的に困難
- 2 通学が公共交通機関利用となり費用負担が心配
- 3 通学路の安全性が心配
- 4 学校が無くなると寂しい
- 5 地域の人が学校に関わりにくくなる
- 6 その他（ ）

件数	割合
23	18.0%
11	8.6%
59	46.1%
7	5.5%
13	10.2%
15	11.7%

- ⑤ 2-②で、2、3、4を選択した方へお聞きします。選択した規模を確保するためには、今後、統廃合を実施することが必要ですが、あなたのお考えに近いものを選んで番号を記入してください。

- 1 複式が見込まれる学校から段階的に統廃合を進める。
- 2 学年複数学級を達成するために統廃合を進める。

件数	割合
323	65.0%
174	35.0%

- ⑥ 統廃合を検討するうえで、注意すべきことや、講ずべき対策について、あなたのお考えに近いものを2つ選んで番号を記入してください。（全員がお答えください）

- 1 登下校の安全策（スクールバス運行、警察連携など）
- 2 通学費について、経済負担の軽減策（通学費補助等）
- 3 地域の人々が学校に関わりやすくなる対策。
- 4 避難所、防災の拠点とし廃校の利活用が出来るような対策。
- 5 学びや生徒指導のための小中連携。
- 6 その他（ ）

件数	割合
717	47.5%
414	27.4%
90	6.0%
133	8.8%
128	8.5%
28	1.9%

- ⑦ 理想的だと考える1学級あたりの児童数をお答えください。（1つ選んで番号を記入してください）

- 1 10人以下
- 2 11人～20人
- 3 21人～30人
- 4 31人以上
- 5 その他（ ）

件数	割合
7	0.9%
195	25.3%
512	66.3%
33	4.3%
25	3.2%

3 学校教育以外に関すること

- ① 学校教育以外で小学校(施設)に期待するもの(1つ選んで番号を記入してください)

- 1 地域コミュニティ（文化・スポーツ）活動の拠点
- 2 防災の拠点、避難所としての機能
- 3 その他（ ）

件数	割合
407	55.1%
303	41.1%
26	3.5%

市民向けアンケート 一次集計結果(速報) 令和4年10月11日現在

設問

各設問の□欄に、○を記入してお答えください。

○ 配布数 1,200 名 ※住民基本台帳無作為抽出による

三崎地区	492 名		
南下浦地区	443 名		
初声地区	265 名		
回収件数	401 名	回収率	33.4%

1 基本情報

① あなたの年代についてお聞きします (1つ選択)

18	18歳～29歳	4.5%	
22	30歳～39歳	5.5%	
40	40歳～49歳	10.0%	
68	50歳～59歳	17.0%	
76	60歳～69歳	19.0%	
130	70歳～79歳	32.6%	
45	80歳以上	11.3%	不明 2名

② お住まいの地域をお聞きします (1つ選択)

	構成比	回収率
153 三崎地区	38.2%	31.1%
143 南下浦地区	35.7%	32.3%
92 初声地区	22.9%	34.7%
13 不明	3.2%	

2 学校との関わり

① 最近1年間に何回くらい小学校に行ったかお聞きします (1つ選択)

4	週に1回程度	1.0%
8	月に1回以上	2.0%
20	半年に1回以上	5.1%
90	1年に1回以上	23.0%
247	1回も行っていない	63.0%
23	その他	5.9%

② 最近1年間に学校に行った目的についてお聞きします（複数選択可）

15	PTA等、保護者としての活動	6.6%
103	選挙の投票所などの公的利用	45.4%
4	ボランティア活動	1.8%
44	学校行事(運動会、授業参観等)	19.4%
3	災害での避難(大雨、台風、地震等)	1.3%
5	自治会行事	2.2%
16	文化・スポーツ活動	7.0%
8	仕事、業務上の関係	3.5%
29	その他	12.8%

③ 学校が地域で担ってきた役割で、重要だと考えるものをお聞きします（複数選択可）

305	地域防災の拠点	32.6%
156	選挙の投票所などの公的利用	16.6%
182	地域の活動・交流の拠点	19.4%
176	スポーツ活動の拠点	18.8%
103	文化活動の拠点	11.0%
15	その他	1.6%

3 学校教育について

① 子ども達の学びの場である学校が、大切にすべきことについてお聞きします（複数選択可）

320	基礎的・基本的な学力を伸ばす教育	17.9%
275	いろいろな人に出会い、考えに触れ合える機会	15.4%
172	個々の才能を伸ばす教育	9.6%
276	社会性やコミュニケーション能力の育成	15.4%
155	良い意味での競争（切磋琢磨）	8.7%
256	自尊心や思いやる心の育成	14.3%
193	自然や伝統を大切にし、三浦を愛する心を育む教育	10.8%
131	地域との連携教育	7.3%
12	その他	0.7%

② 3-①で選択した大切にすべきことを達成するために、必要と考える学校規模をお聞きします。（1つ選択）

233	1学年2学級以上（クラス替えが出来る規模）	59.6%
52	1学年1学級	13.3%
87	わからない	22.3%
19	その他	4.9%

③ 今後さらに児童生徒数の減少が見込まれるなか、教育委員会では一定程度の学校規模が必要と考えています。小学校の統廃合についてお聞きします（1つ選択）

151	1学年2学級以上の規模となるように統廃合すべき	38.2%
91	児童の少ない学校から統廃合すべき	23.0%
72	子どもが少なくなっても統廃合はするべきではない	18.2%
68	わからない	17.2%
13	その他	3.3%

4 その他

① 仮に学校として使用しなくなった場合の施設利用については、どのように活用すべきかお聞きします（複数選択可）

227	地域住民の生涯学習やスポーツのための施設	22.0%
199	地域の子どものための施設	19.3%
133	福祉サービスのための施設	12.9%
87	財政負担を軽減するため売却処分	8.4%
94	N P O、民間団体などの活動のための施設	9.1%
275	防災拠点、避難所	26.7%
16	その他	1.6%

三崎地区・南下浦地区合同地域協議会

各アンケート調査においては、様式設計、設問事項の検討、参考資料の掲載内容、単純結果の報告、教育委員会による分析の結果に至るまで、ご検討、ご協議を全7回にわたりご審議いただきました。

令和3年12月3日(金)19時～ 南下浦市民センター	保護者向けアンケートについて(様式検討) 教職員向けアンケートについて(様式検討)
令和4年1月19日(水)19時～ 三浦消防署	保護者向けアンケートについて(様式検討) 教職員向けアンケートについて(様式検討)
令和4年5月27日(金)19時～ 初声市民センター	保護者向けアンケートについて(様式検討) 教職員向けアンケートについて(結果報告)
令和5年8月24日(水)19時～ 南下浦市民センター	保護者向けアンケートについて(結果報告) 市民向けアンケートについて(様式検討)
令和4年10月17日(月)19時～ 南下浦市民センター	保護者向けアンケートについて(結果分析) 市民向けアンケートについて(結果報告)
令和4年11月14日(月)19時～ 初声市民センター	市民向けアンケートについて(結果分析) 教職員-保護者-市民について(総合分析)
令和5年1月20日(月)19時～ 初声市民センター	改訂版三浦市学校教育ビジョン(案)について

学校教育ビジョン課題検討会議（庁内）

地域協議会同様に、各アンケート調査について様式設計、設問事項の検討、参考資料の掲載内容、単純結果の報告、教育委員会による分析の結果に至るまで、検討、協議を全9回実施いたしました。

令和4年1月20日(月)14時30分～ 市庁舎	保護者及び教職員アンケートについて(様式検討)
令和4年2月2日(水) 書面会議(グループウェア)	保護者アンケートについて(様式検討)
令和4年4月28日(木)10時～ 市庁舎	保護者アンケートについて(様式検討)
令和4年5月31日(火) 書面会議(グループウェア)	保護者アンケートについて(様式検討)
令和4年8月16日(火)13時10分～ 市庁舎	保護者アンケートについて(結果報告) 市民向けアンケートについて(様式検討)
令和4年9月2日(金) 書面会議(グループウェア)	市民アンケートについて(様式検討)
令和4年10月19日(水) 書面会議(グループウェア)	保護者アンケートについて(結果分析) 市民向けアンケートについて(結果報告)
令和4年11月8日(火) 書面会議(グループウェア)	市民アンケートについて(結果分析) 3つのアンケートについて(結果分析)
令和5年1月12日(木)13時30分～ 市庁舎	改訂版三浦市学校教育ビジョン（案）について